

蒲生干潟周辺の塩分濃度⑤

■蒲生干潟周辺の塩分濃度の測定を行った。

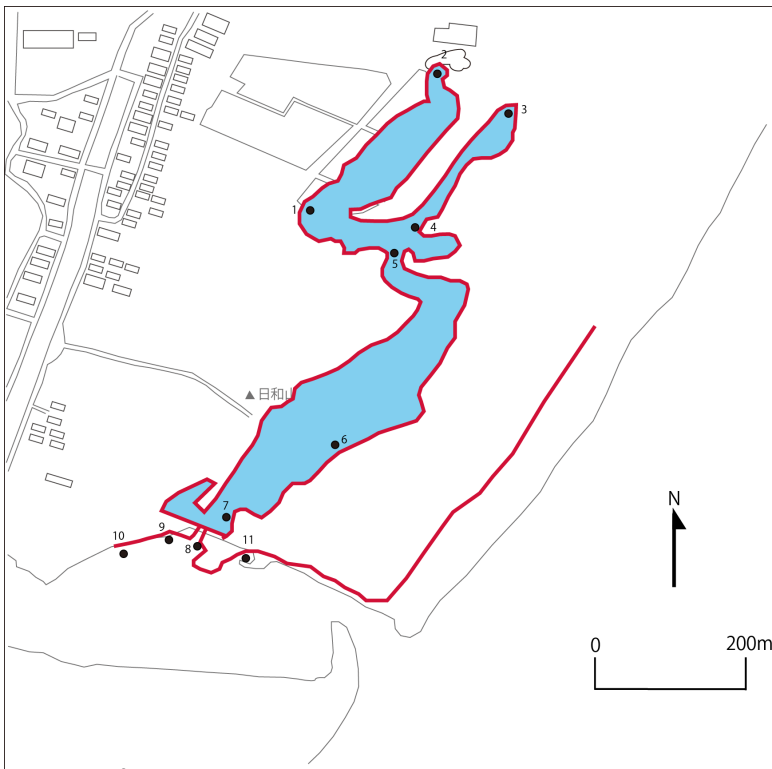


Fig.1 採集箇所（赤線は、2016.4.6にトレースした線）

地点	塩分濃度(%)			
	1回目	2回目	3回目	平均
St.1	1.9	2.1	2.1	2.0
St.2	1.2	1.2	1.2	1.2
St.3	1.1	1.0	1.1	1.1
St.4	2.1	2.1	2.1	2.1
St.5	2.0	2.1	2.0	2.0
St.6	2.2	2.2	2.2	2.2
St.7	2.1	2.2	2.2	2.2
St.8	2.0	2.1	2.1	2.1
St.9	0.9	0.9	0.9	0.9
St.10	0.7	0.7	0.7	0.7
St.11	1.4	1.4	1.4	1.4

Table.1 各地点の塩分濃度（採集は表層のみ）

蒲生調査レポートNo113の調査と同日同時間に、蒲生干潟周辺の塩分濃度を測定した。採水地点は、Fig.1に示したとおり、11カ所で行った。Table.1は塩分濃度の測定結果をあらわしており、平均のセルがオレンジ色のものは4月と比較して高かったもの、青色は低かったもの、無色は変化が±0.1とほとんど変わらなかったものを表している。

測定された塩分濃度は4月の調査と比較するとSt.3では0.7%低い値を示したが、潟湖内は平均0.2%全体的に高めの結果となった。導流堤付近のSt.8では4月結果と変わらなかったもののSt.9～11では平均すると1.4%低い測定値となっていた。今回の調査は干潮時間帯に行ったため、河口付近（St.9～11）では海水の遡上がなかった。このため、川側の塩分濃度は低くなっていたと考えられる。潟湖内の塩分濃度が全体的に高くなった理由については、今後調査を続けあきらかにしていきたい。